

利用者アンケート調査

I. 目的

新しい利用のあり方推進計画の具体的な検討を進めるにあたり、利用者の意向を把握するため、利用者に対し、マイカー規制に対する意向、自然体験プログラムに関する要望、大台ヶ原における観光消費等についてアンケート調査を実施した。

II. 概要

1. 調査日時：平成 16 年 5 月 22 日（土）、23 日（日） 9:30～16:30
2. 調査場所：物産店周辺、ビジターセンター内
3. アンケート数

回収したアンケート数は 2 日間で以下の通り 360 票となった。

調査場所	22 日	23 日	合計
物産展	120	100	220
ビジターセンター	77	63	140
合計	197	163	360

III. 調査結果

概要は次に示す通りである。なお、以下の分析では無効回答を除いている。

1. 回答者の属性、来訪形態等

1-1 居住地

回答者の居住地は、大阪、奈良、兵庫、京都、三重、和歌山の近畿圏が 80%、愛知県が 8%であり、合わせて約 90%である。（平成 15 年度調査でも上記 7 県の合計はほぼ同様の割合であった。）

少数回答は香川、鳥取、島根が 1%、滋賀、岐阜、高知、埼玉、東京、福岡、宮城、岡山、宮崎、群馬、広島、新潟、神奈川、静岡、徳島が 1%未満であった。

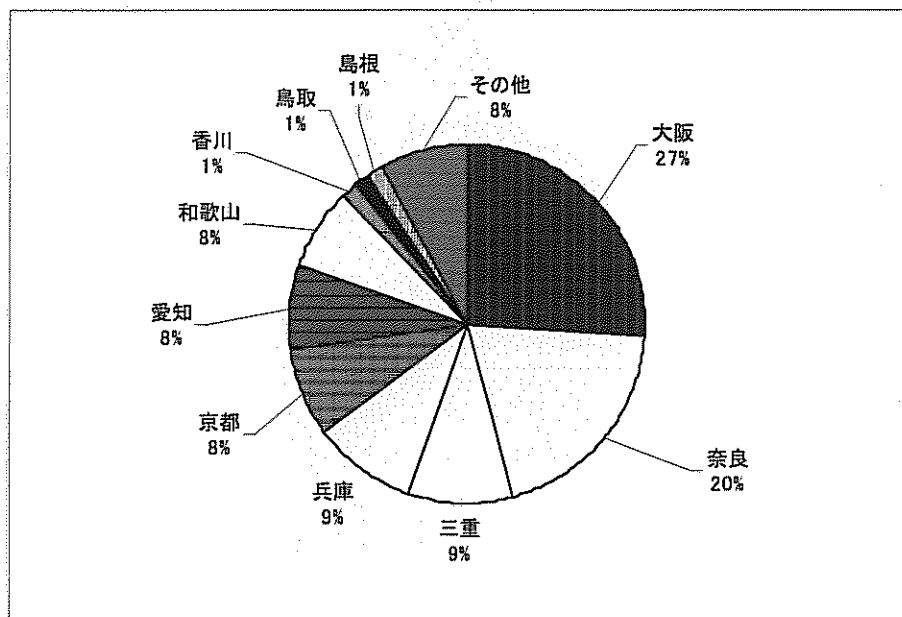


図 1 回答者の居住地

1-2 性別

回答者の性別は「男性」が約60%、「女性」が約40%であった。(平成15年度調査でもほぼ同様の割合であった。)

性別	回答数	%
男性	219	61.3
女性	138	38.7
合計	357	100.0

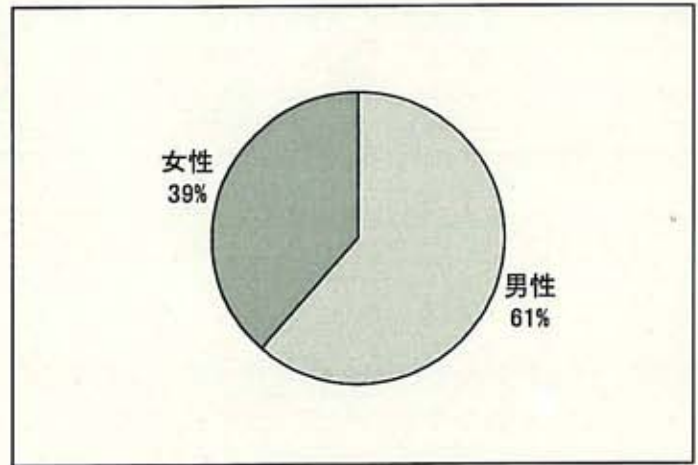


図2 回答者の性別

1-3 年齢

回答者の年齢は、「50代」が約30%を占め、50代以上の割合が約60%である。(平成15年度調査では「50代」が約30%、50代以上の割合が約50%であった。)

年齢	回答数	%
10代	1	0.3
20代	39	10.9
30代	50	14.0
40代	56	15.6
50代	119	33.2
60代以上	93	26.0
合計	358	100.0

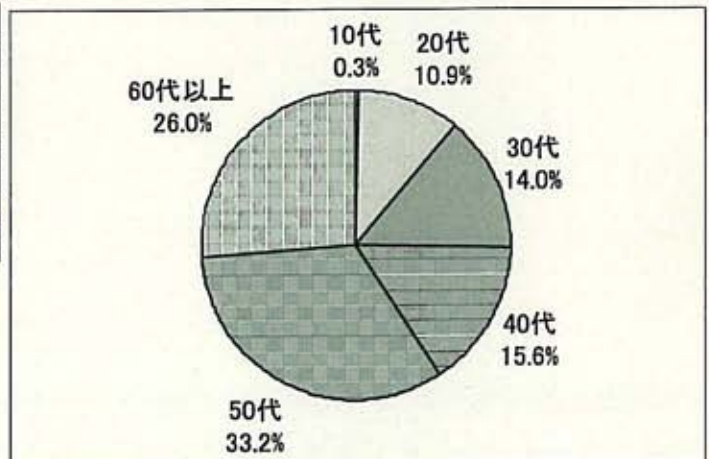


図3 回答者の年齢

1-4 同行者

家族、友人と来訪した人の割合が合わせて約70%、単独で来訪した人が12%である。同行者数（回答者含む）をみると、2人連れが最も多い。家族の2人連れと2~4人の友人グループがそれぞれ25%を占めた。（平成15年度調査では家族、友人と来訪した人が85%と多く、単独は8%であった。）

同行者	数	%
友人	129	36.0
家族	123	34.4
その他団体	44	12.3
ひとり	43	12.0
旅行会社のツアー	19	5.3
合計	358	100

同行者数	回答数	%
1人	43	12.9
2人	131	39.2
3人	36	10.8
4人	37	11.1
5人	18	5.4
6人~9人	18	5.4
10~19人	12	3.6
20~29人	14	4.2
30~39人	5	1.5
40~49人	3	0.9
50~89人	0	0.0
90人以上	17	5.1
合計	334	100

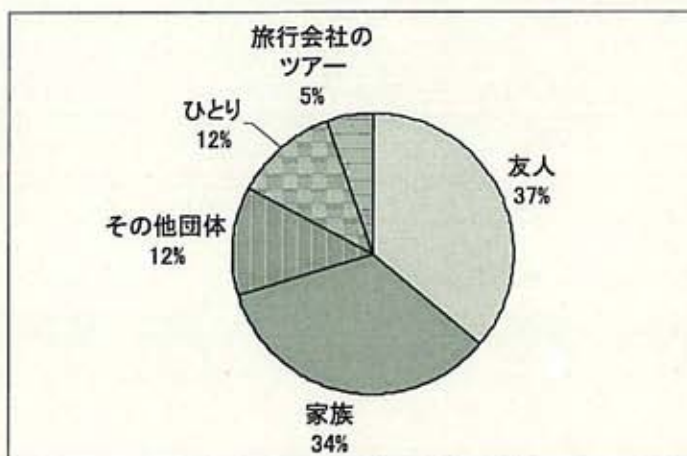


図4 同伴者

1-5 交通手段

回答者の利用交通手段は約73%が「自家用車」で最も多く、次いで「観光バス」が約16%、「路線バス」が5%となっている。「その他」の内訳は7人中6人がバイクであった。(平成15年度調査では「自家用車」が73%と多く、次いで「路線バス」が12%、「観光バス」が10%であった。)

交通手段	回答数	%(n=360)
自家用車	264	73.3
観光バス	58	16.1
路線バス	18	5.0
タクシー	6	1.7
徒歩	7	1.9
その他	7	1.9
合計	360	100

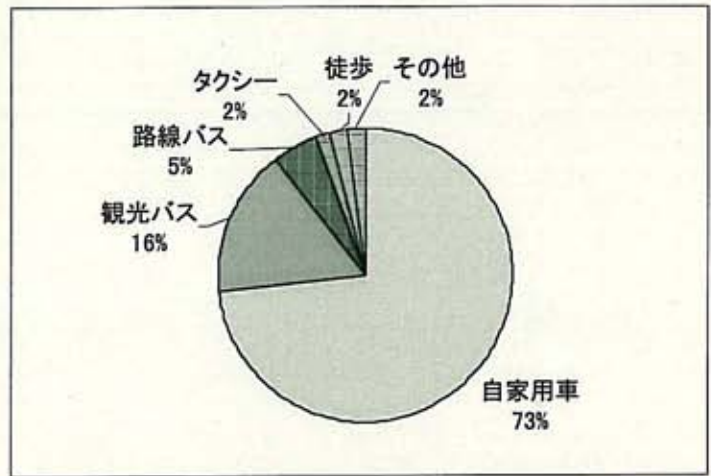


図5 利用交通手段

来訪頻度別に交通手段を比較すると、来訪頻度が高いほど自家用車利用の割合が高いといえる。

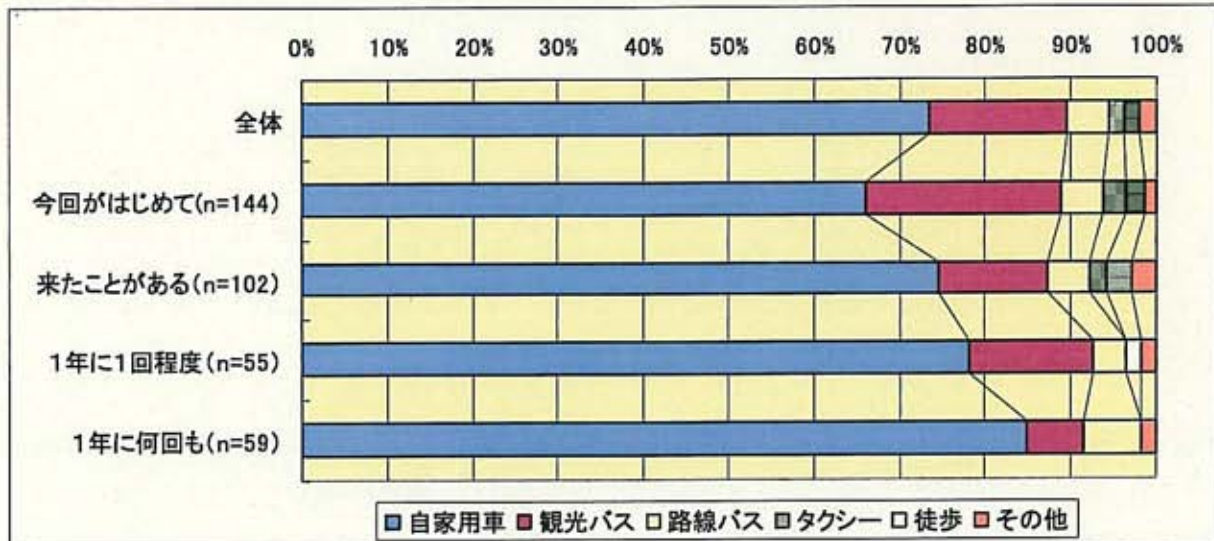


図6 来訪頻度別の利用交通手段

1-6 来訪頻度

「今回がはじめて」という人が40%で最も多い。継続的に訪れるリピーターは30%以上あり、その中でも「1年に何回も」訪れるという来訪頻度の高い利用者が約16%みられる。(平成15年度調査結果では「今回がはじめて」が45%で最も多く、次いで「来たことがある」が30%、「1年に1回程度」が16%、「1年に何回も」が9%であった。)

来訪頻度	回答数	% (n=360)
今回がはじめて	144	40
来たことがある	102	28.3
1年に何回も	59	16.4
1年に1回程度	55	15.3
合計	360	100

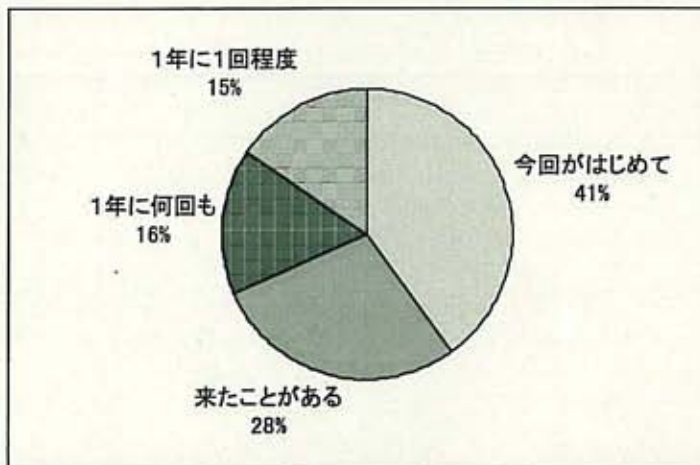


図7 来訪頻度

年齢別の来訪頻度をみると、年齢が高くなるに従い、来訪経験がある人の割合が高くなっている。

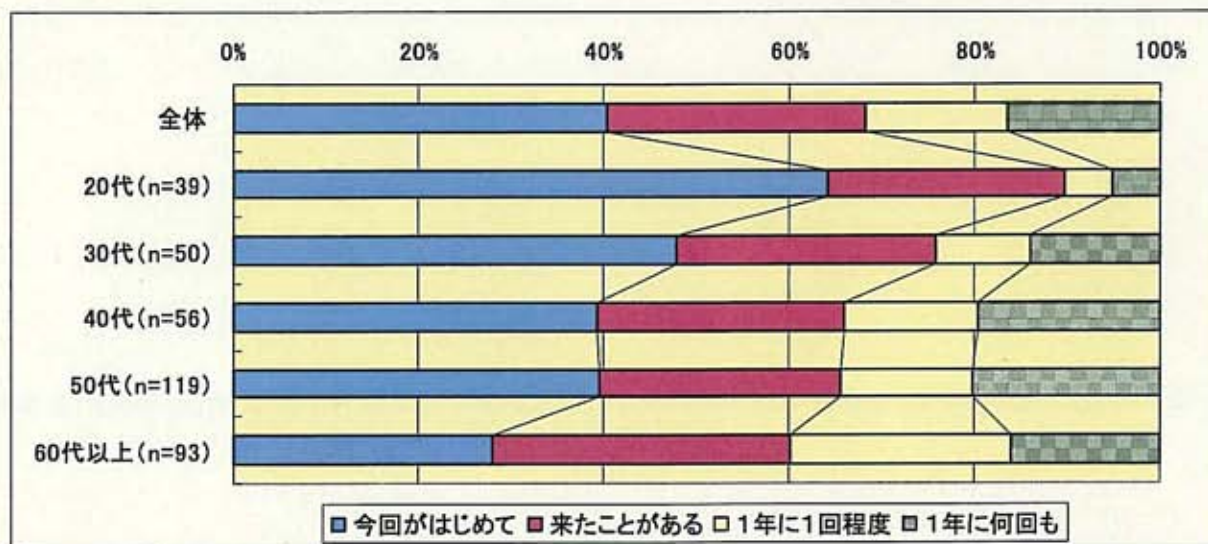


図8 年齢別の来訪頻度 (10代 (1人) を除く)

1-7 来訪目的 (複数回答)

約 65% の人が「ハイキング・散策」を来訪目的として挙げている。

目的	回答数	回答率
ハイキング・散策	231	64.2
登山	86	23.9
写真撮影	61	16.9
動植物観察	45	12.5
その他	22	6.1

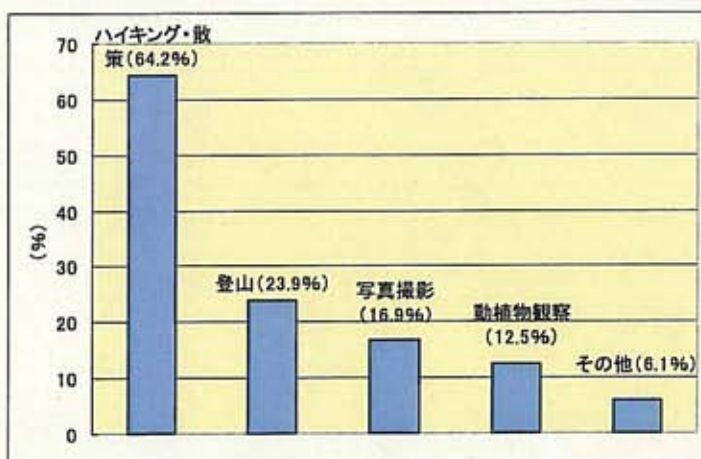


図9 来訪目的

年齢別にみると、年齢が低いほど来訪目的は「ハイキング・散策」に特化しているが、年齢が高くなるにつれ、「登山」の要素が高まる傾向があるといえる。

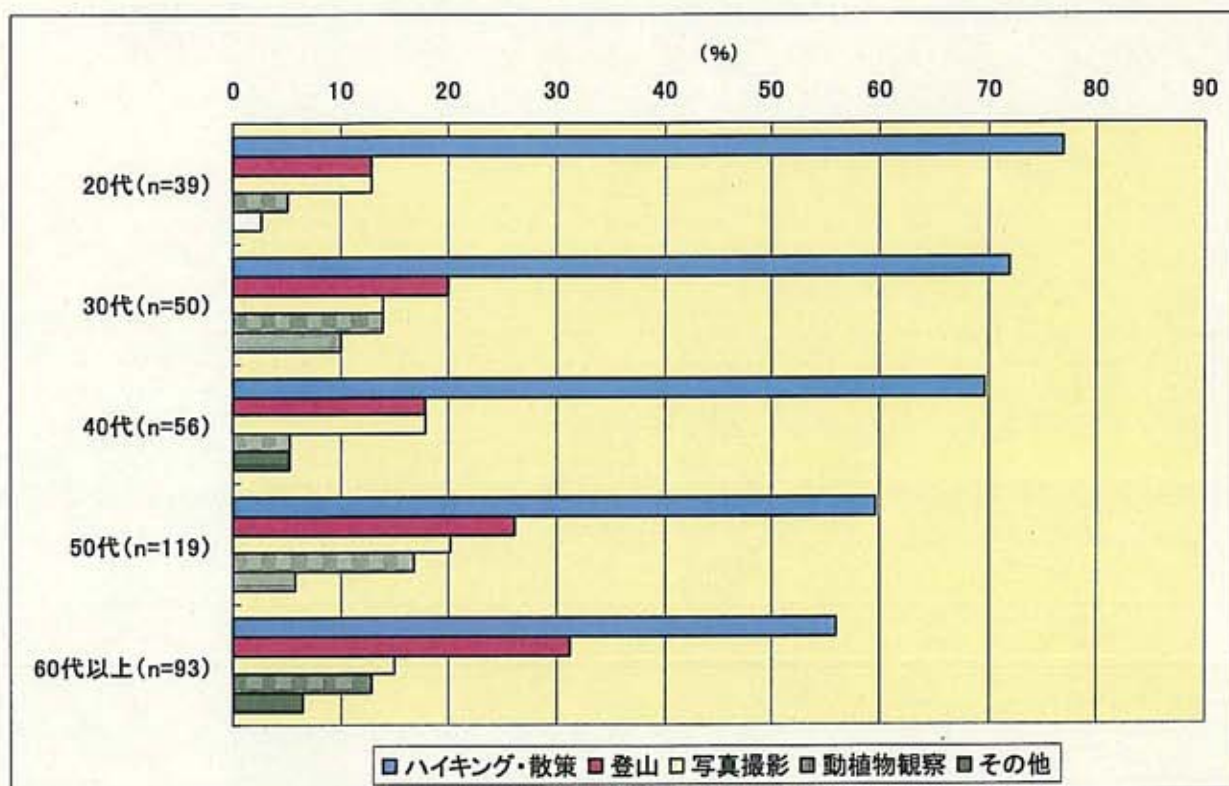


図10 年齢別の来訪頻度 (10代 (1人) を除く)

1-8 今後の来訪予定

95%を超える人が再び訪れたいと回答している。

来訪を希望する時期（複数回答）としては「秋」（約70%）、「紅葉の頃」（約55%）を挙げる人が多い。

また訪れたいか	回答数	%
はい	341	96.9
いいえ	11	3.1
合計	352	100.0
季節	回答数	回答率
春	116	34.0
夏	104	30.5
秋	237	69.5
冬	43	12.6
新緑の頃	93	27.3
シャクナゲの頃	111	32.6
紅葉の頃	186	54.5
樹氷の頃	50	14.7
その他	8	2.3

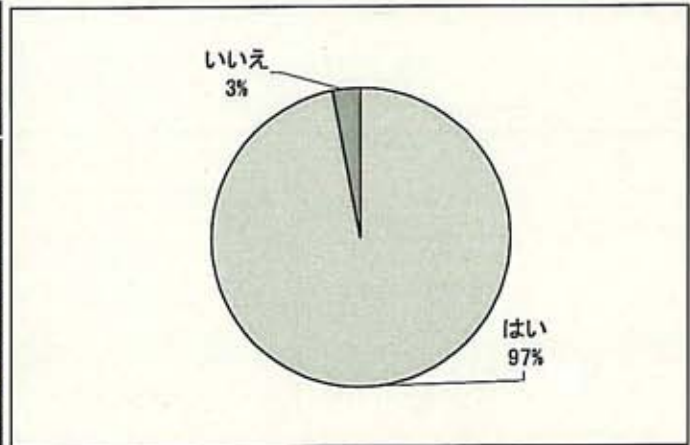


図11 来訪希望

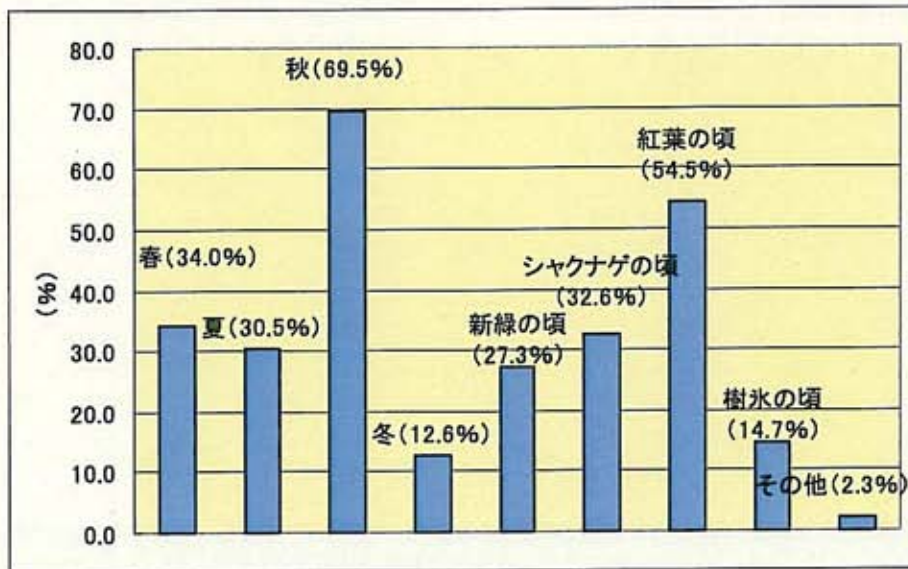


図12 来訪希望時期

2. マイカー規制について

2-1 必要性の認識

平成 15 年度調査では「何らかの対策が必要であるか」との質問に対し、約 83%の人が「必要である」と回答した。今回は「ピーク時のマイカー規制」に限定した質問であったが、85%を超える人が「必要である」回答した。

必要性の認識	回答数	%
必要である	306	86.4
必要でない	48	13.6
合計	354	100

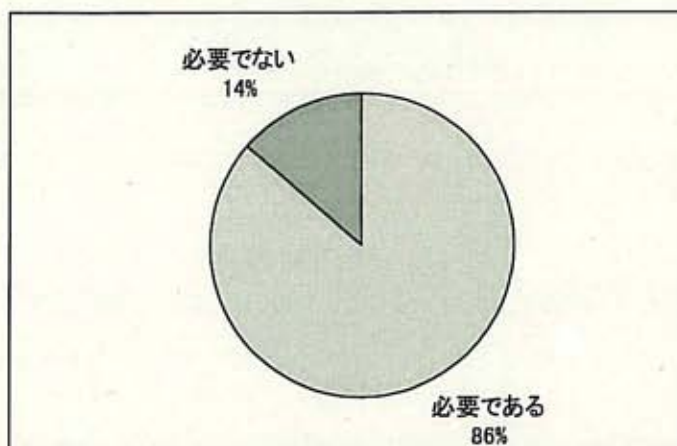


図 1 3 ピーク時の規制の必要性

交通手段別にみると、「自家用車」「観光バス」利用者の中に「必要でない」と回答した人が約 15%あるが、大半は規制が「必要である」と回答している。



図 1 4 交通手段別にみるマイカー規制の必要性認識

①マイカー規制が「必要である」と回答した人の理由（自由回答）

マイカー規制が「必要である」と答えた人の理由で最も多いのは、「自然環境の保護・保全のため」であり、約 53%である。また、自然環境に影響があると考えられる「排気ガス・CO2 が発生するから」は約 15%の人が挙げている。

一方、マイカーの混雑を理由とするものとして「渋滞・路駐が生じるから」「危険だから・事故防止のため」「山上駐車場がせまいから」「予定が狂うから・時間がかかるから」等が挙げられており、これらを合わせると約 54%となる。

上記以外の要因では、利用の質の向上を求める意見として「マナー向上につながるから」「上高地など他地区で実施しているから」という意見があった。

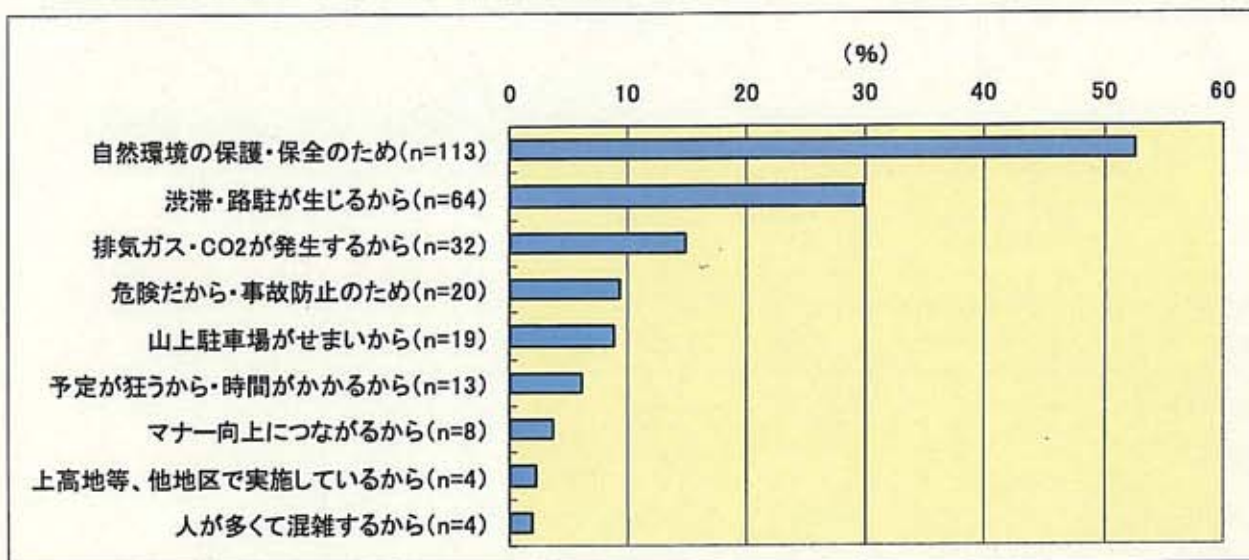


図 15 マイカー規制が「必要である」と考える理由 (n=215)

②マイカー規制が「必要でない」と回答した人の理由

マイカー規制が「必要でない」と答えた人の理由で最も多いものは、「自由な時間設定ができない、不便になる」であり、20人中 12人が理由として挙げた。次に多いのは、駐車場を広げるなど、「マイカー規制以外の対策をすべき」という意見であり、4人が挙げている。少数意見としては、「料金負担がある」、「面倒である」(各 2人)、「身障者にとって不便」「既に観光地化している」「特に混雑は感じない」(各 1人)等が挙げられた。

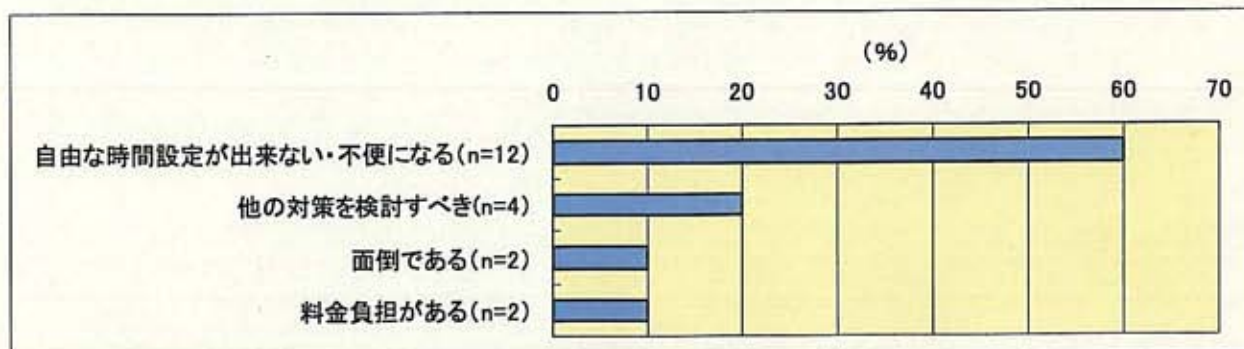


図 16 マイカー規制が「必要でない」と考える理由 (n=20)

2-2 乗換え駐車場、シャトルバスの料金設定

駐車場とシャトルバスの料金の合計では、半数近くの人が「往復 1,500 円以内」としている。「往復 2,000 円以内」と合わせると約 75%が 2,000 円以内が妥当であると想定している。

駐車場、シャトルバス料金	回答数	%
往復1,500円以内	139	46.2
往復2,000円以内	90	29.9
往復2,500円以内	6	2.0
往復3,000円以内	13	4.3
往復3,000円以上も可	21	7.0
有料ならば予定変更	7	2.3
その他	25	8.3
合計	301	100

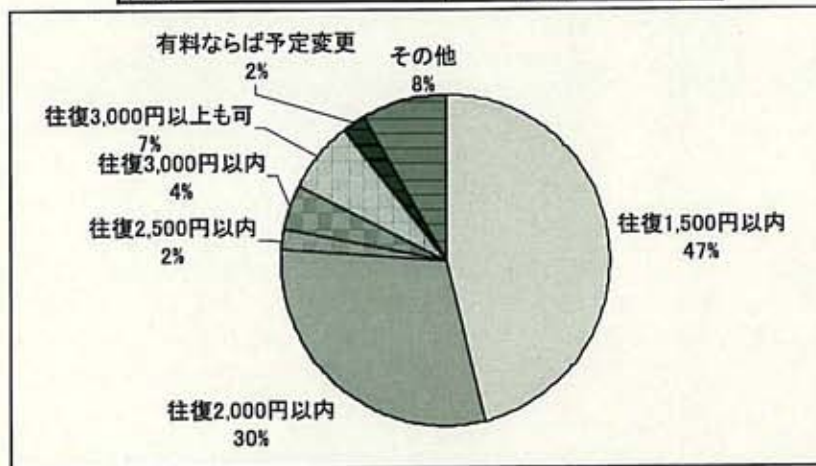


図 17 駐車場、シャトルバスの合計料金設定

利用交通手段別にみると、路線バス利用者は、他に比べ概して設定料金が高い傾向がある。これは、大和上市駅から大台ヶ原までの路線バス運賃（往復 4,000 円）との兼ね合いであると考えられる。

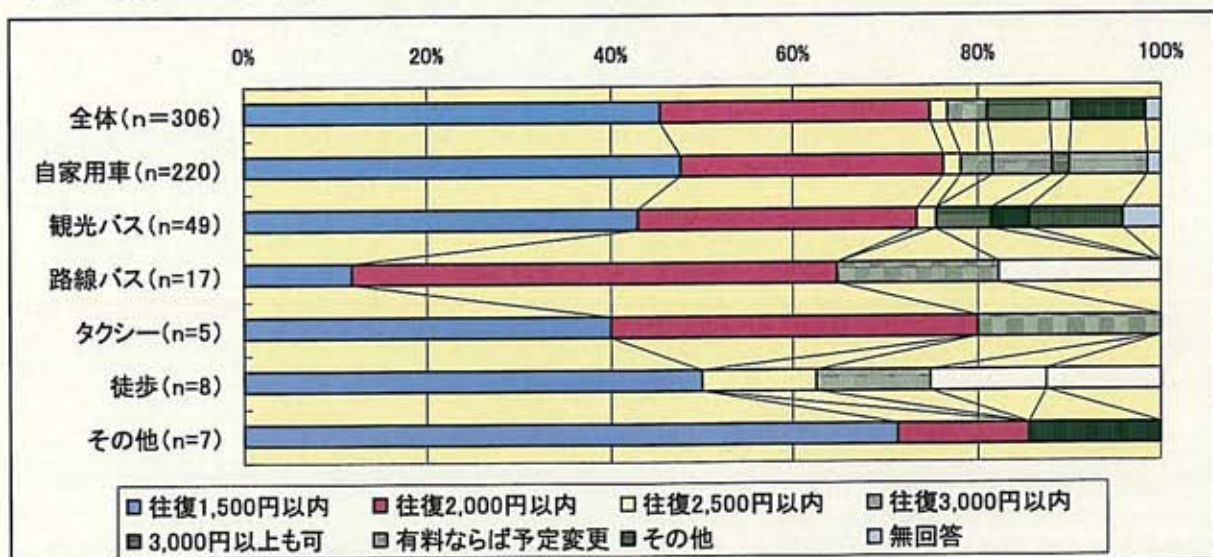


図 18 利用交通手段別にみる駐車場、シャトルバスの料金設定

2-3 シャトルバス乗車時間

容認できるシャトルバス乗車時間の設定では、「片道 30～40 分」が最も多く、「片道 45 分～1 時間」を合わせると 90% 近くなる。

シャトルバス乗車時間	回答数	%
片道30～45分	146	48.8
片道45分～1時間	118	39.5
片道1時間～1時間30分	18	6.0
どれだけかかっても構わない	7	2.3
その他	10	3.3
合計	299	100.0

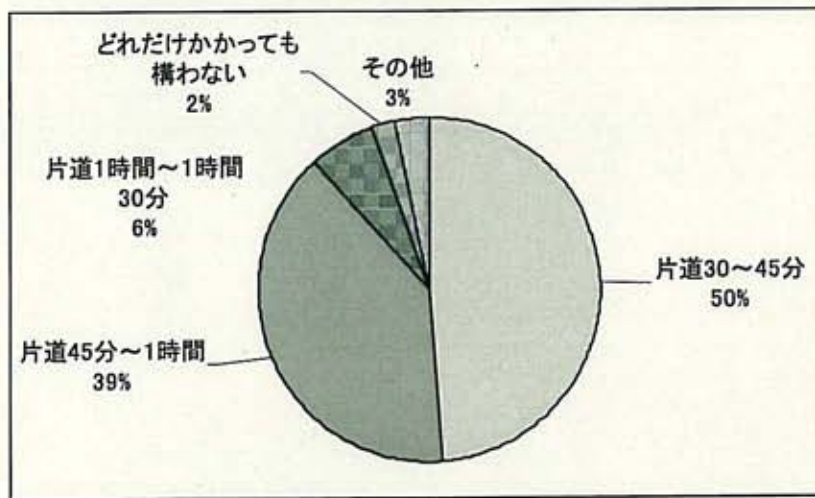


図 19 シャトルバス乗車時間設定

利用交通手段別にみると、路線バス、タクシーの利用者は比較的長い乗車時間を容認する傾向があるといえる。これは、大和上市駅から大台ヶ原までの路線バスの所要時間が約 1 時間 40 分であることが関係していると考えられる。

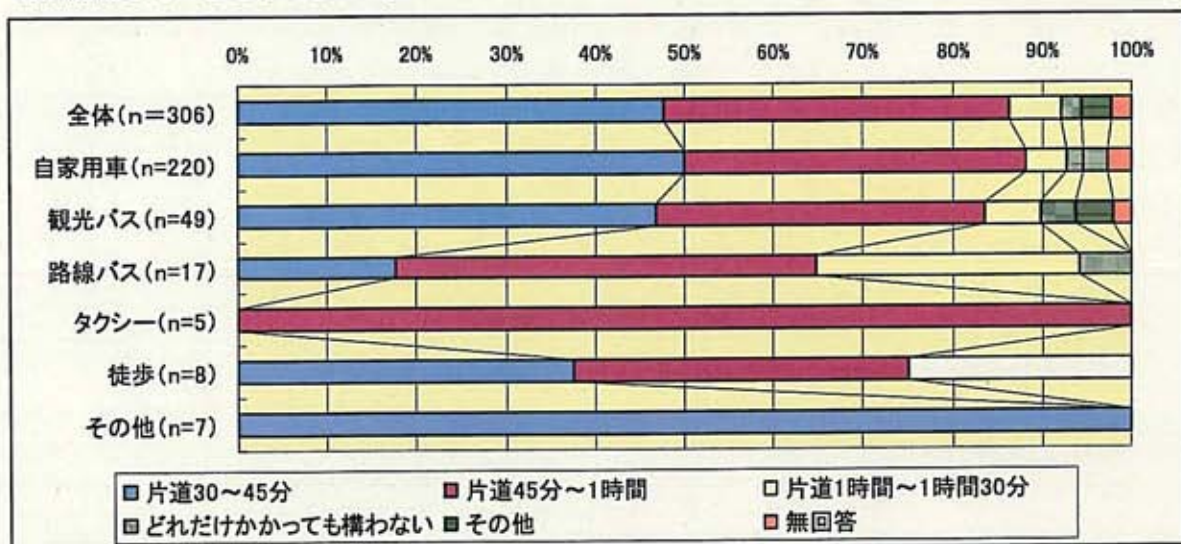


図 20 利用交通手段別にみるシャトルバス乗車時間設定

2-4 乗換え駐車場に必要な施設・サービス（複数回答）

「トイレ」への需要が非常に高く90%を超える。「売店・自動販売機」「食事処、喫茶店」はどちらも40%以上の人が「必要である」と回答している。

乗換え駐車場に必要な施設・サービス	回答数	回答率
トイレ	295	92.2
売店・自動販売機	143	44.7
食事処・喫茶店	136	42.5
物産店・特産物販売所	81	25.3
ビジターセンター	72	22.5
その他	8	2.5
特になし	5	1.6

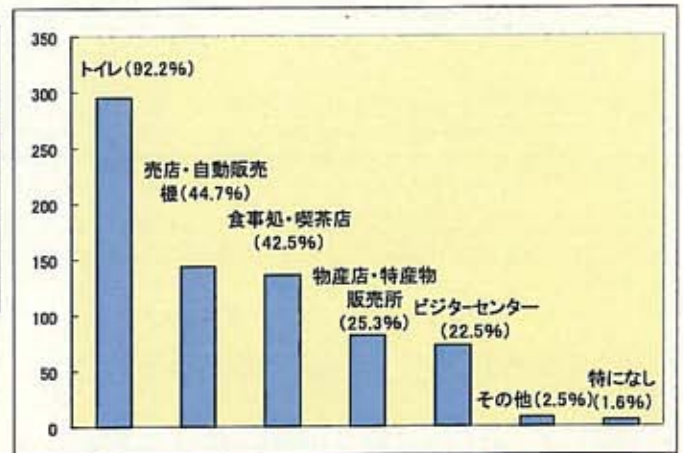


図 2 1 乗換え駐車場に必要な施設・サービス

2-5 立寄り地点としてあればよいと思うもの（複数回答）

「日帰り温泉」への要望が50%を超える。次いで「物産店・特産物販売所」が約20%と多いが、一方で、30%を超える人が「特になし」と回答している。

バスルートの途中に必要な施設	回答数	回答率
日帰り温泉	164	51.3
物産店・特産物販売所	61	19.1
宿泊施設	43	13.4
資料館・博物館	30	9.4
その他	10	3.1
特になし	104	32.5

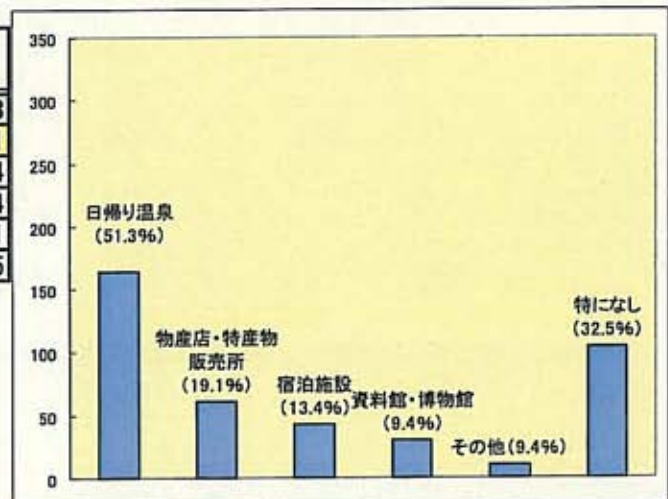


図 2 2 バスルートの途中に必要な施設

3-1 自然体験プログラム（複数回答）

質の高い利用を促すために考えられる自然体験プログラムのうち、多くの回答者が参加したい意向を示したものは、「自然観察会」、「夜の観察会、星の観察会」、「日の出を見る会」であり、約30~40%となっている。

自然体験プログラム	回答数	回答率
ガイド付き自然観察会	143	39.7
夜の観察会、星の観察会	129	35.8
日の出を見る会	105	29.2
大台ヶ原の自然研究	97	26.9
ガイド付き日帰り登山	81	22.5
写真撮影会・写生会	49	13.6
自然保護ボランティア	46	12.8
ガイド付き1泊登山	40	11.1
工作体験	31	9.0
ネイチャーゲーム	30	8.3
学習会	25	6.9

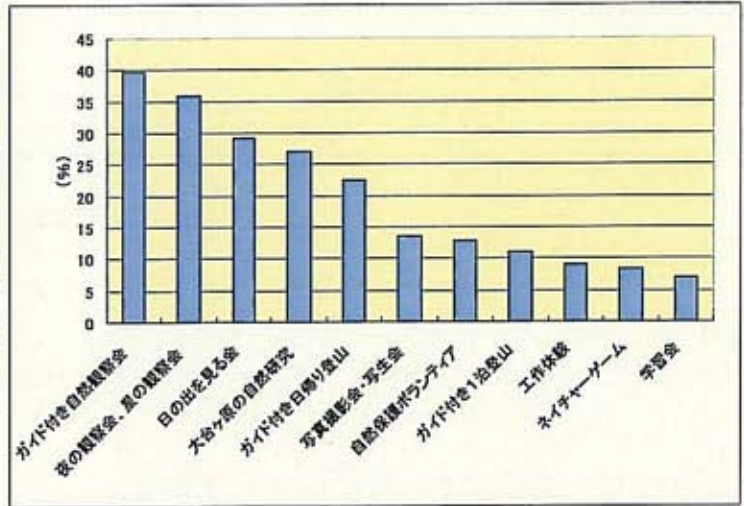


図23 参加したい自然体験プログラム

希望する体験プログラムを年齢別に比較すると、年齢による差はあまりみられない。傾向としては、60歳以上の回答者の「学習会」に対する要望が高いことが挙げられる。

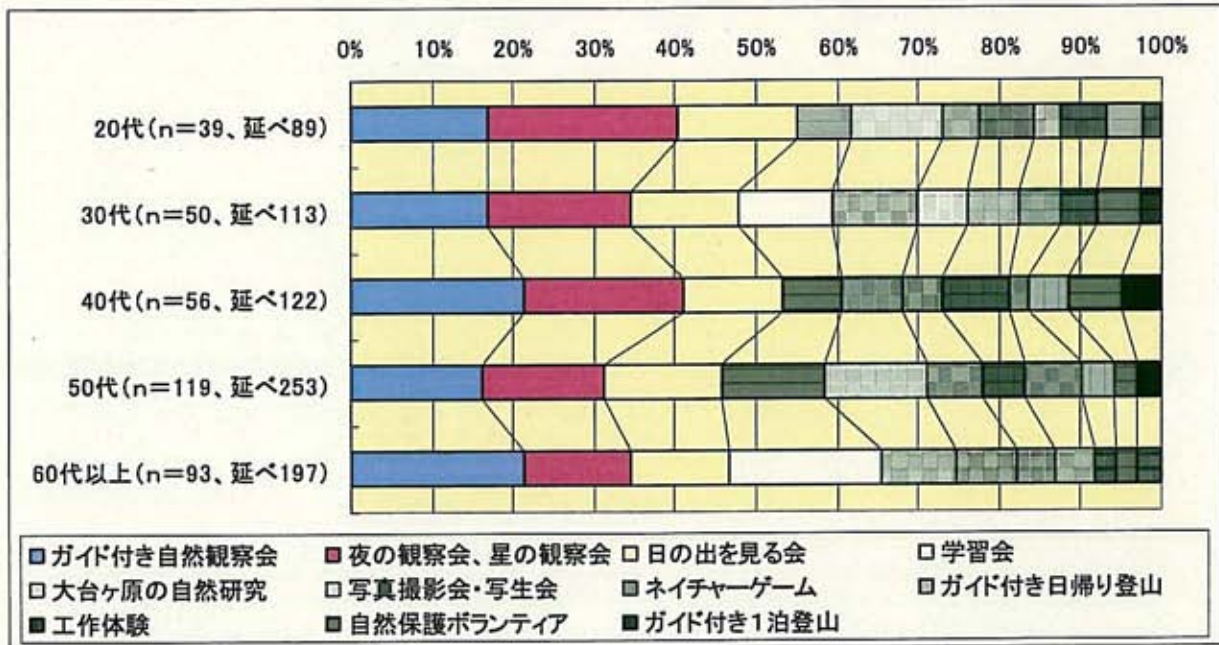


図24 年齢別にみる参加したい自然体験プログラム（10代（1人）を除く）

3-4 有料ガイドツアー料金設定

より深い自然体験が期待できる有料ガイドツアーの料金について、半数以上の人「3,000円～4,000円」が妥当であると回答した。

有料ガイド料金	回答数	%
3,000円～4,000円	173	52.1
4,000円～5,000円	46	13.9
5,000円～	17	5.1
参加したくない	62	18.7
その他	34	10.2
合計	332	100

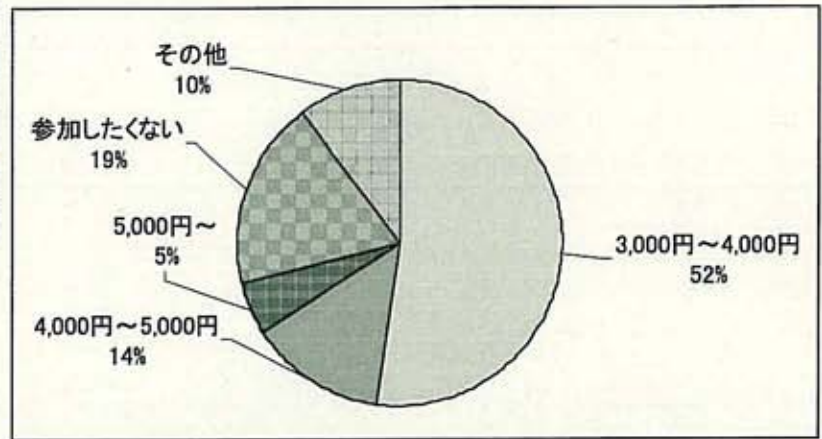


図 25 有料ガイドツアー料金設定

有料ガイドツアーの料金設定と年齢の関係を見ると、60代以上を除いて「3,000～4,000円」が50%を超える。20代～30代に比べ、40代以上では、「参加したくない」との回答が比較的多く20%を超える。また、来訪頻度が少ないほど料金設定が高い傾向があり、「1年に何回も」来訪する人では「参加したくない」との回答が30%を超えることから、有料ガイドツアーは初めて来訪する人に有効であると考えられる。

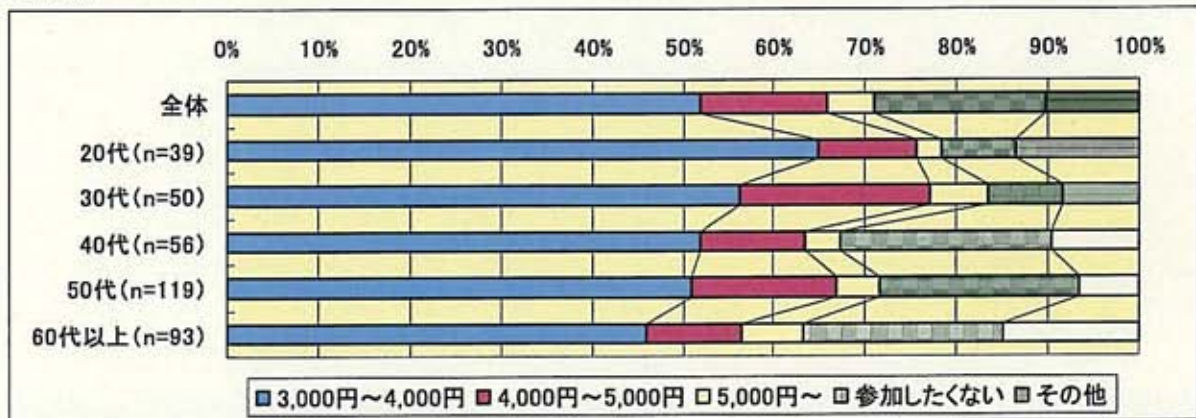


図 26 年齢別の有料ガイドツアー料金設定 (10代 (1人) を除く)

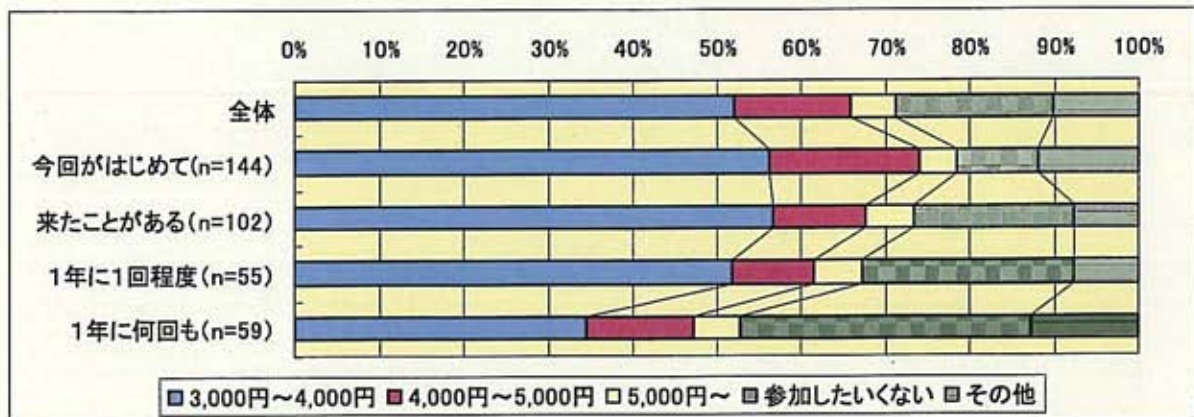


図 27 来訪頻度別の有料ガイドツアー料金設定

3-5 短期イベントの日程（複数回答）

短期イベントの日程としては、宿泊型よりも日帰りの方が希望が多い。1泊2日の日程の中では、「土曜出発・1泊2日」の希望が比較的高い。

イベント日程	回答数	回答率
平日出発・日帰り	100	27.8
平日出発・1泊2日	59	16.4
土曜出発・日帰り	141	39.2
土曜出発・1泊2日	97	26.9
日曜出発・日帰り	92	25.6
参加したくない	18	5.0
その他	4	1.1

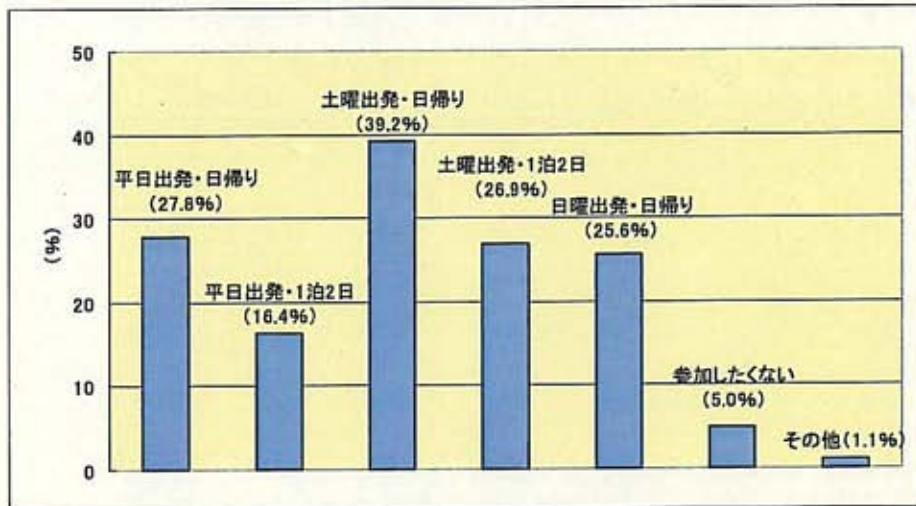


図28 都合のよいイベント日程

3-6 短期イベント時の宿泊先（複数回答）

短期イベント開催時の宿泊は「山頂の宿泊施設」を希望する人が全体の60%を超える。次いで「ふもとの宿泊施設」が約30%である。

宿泊場所	回答数	回答率
山頂の宿泊施設	217	60.3
ふもとの宿泊施設	117	32.5
近隣のキャンプ場	53	14.7
参加したくない	22	6.1
その他	6	1.7

希望する宿泊場所を年齢別に比較すると、どの年齢でも50~60%程度の人が「山頂の宿泊施設」、30%前後の人が「ふもとの宿泊施設」を希望していることがわかる。「近隣のキャンプ場」については差があり、20代、30代では30%近い希望があるが、40代以上では希望者がほとんどいない。

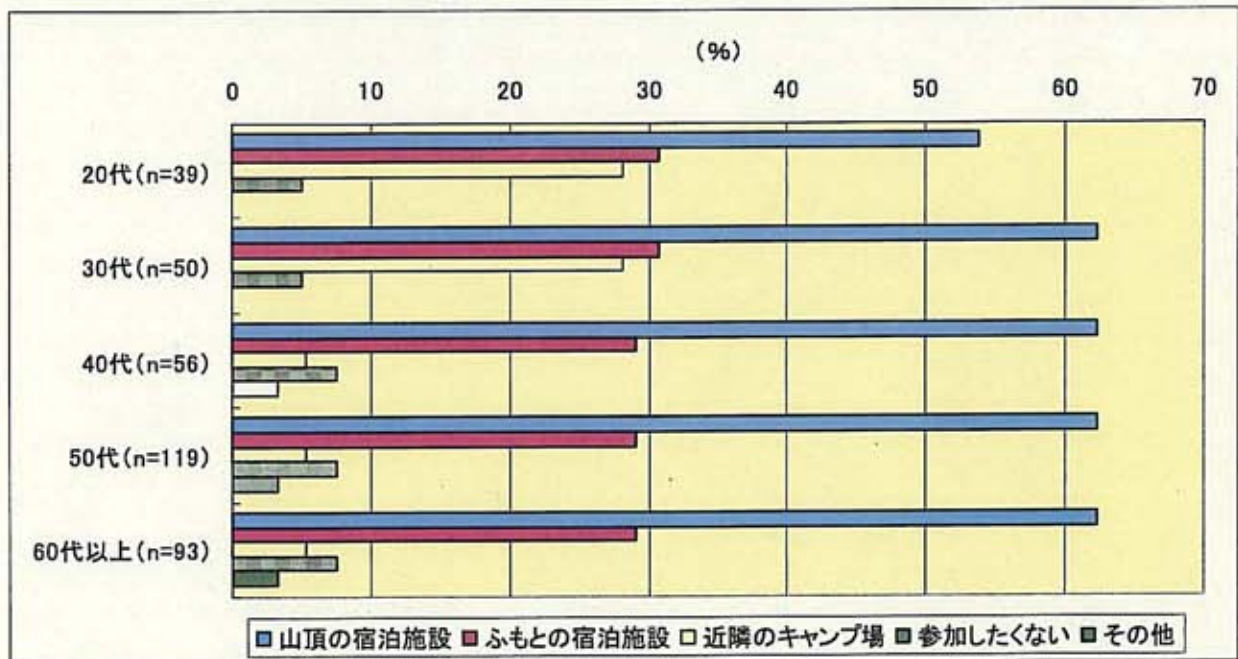


図29 年齢別の希望する宿泊場所（10代（1人）を除く）

3-7 販売物産の内容（複数回答）

イベント開催時に販売される物産への意向をみると、「野菜、川魚などの生鮮食料品」を挙げる人が最も多く、次いで加工食品、木工品等が挙げられた。

販売物産の内容	回答数	回答率
野菜、川魚などの生鮮食料品	171	47.5
こんにやく、餅などの加工食品	138	38.3
木工品、民芸品など	100	27.8
その他	17	4.7

年齢別に比較すると、どの年齢でも「野菜、川魚などの生鮮食料品」と「加工食品」多く挙げられている。20代、30代は「生鮮食料品」を挙げる人の割合が高い

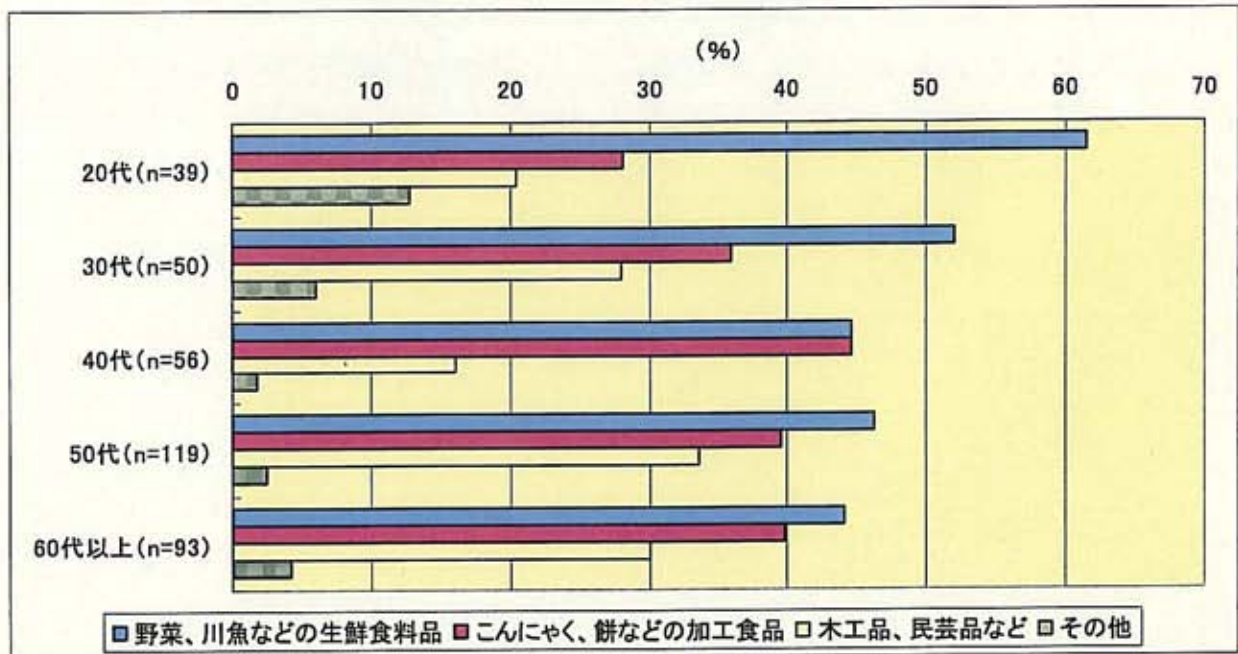


図30 年齢別にみる販売物産内容 (10代(1人)を除く)

4 出費（数値はすべて1人当りに換算）

4-1. 昼食

- ・平均 841円（n=157、出費0円を除く）（全体平均 458円）
- ・昼食購入場所で最も多いのは「物産店」である。
- ・「持参」と答えた人は全体の約36%を占める。

昼食代	回答数	%
0	131	45.5
1~499円	39	13.5
500~999円	67	23.3
1,000~1,499円	36	12.5
1,500~1,999円	7	2.4
2,000~2,999円	6	2.1
3,000円以上	2	0.7
計	288	100

昼食購入場所	回答数	%
物産店	51	17.7
大台荘・山の家	19	6.6
道中の店	46	16.0
その他	24	8.3
持参	104	36.1
不明	44	15.3
計	288	100

4-2. 飲料

- ・平均 344円（n=94、出費0円を除く）（全体平均 112円）
- ・購入場所で最も多いのは「道中の店・自販機」である。
- ・「持参」と答えた人は全体の約39%を占める。

飲食代	回答数	%
0	194	67.4
1~99円	3	1.0
100~199円	26	9.0
200~299円	18	6.3
300~399円	19	6.6
400~499円	4	1.4
500~999円	19	6.6
1,000円以上	5	1.7
計	288	100.0

飲料購入場所	回答数	%
物産店	30	10.4
大台荘・山の家	7	2.4
道中の店・自販機	39	13.5
その他	1	0.3
持参	111	38.5
不明	100	34.7
計	288	100.0

4-3. おみやげ

- ・平均 1,802円（n=126、出費0円を除く）（全体平均 788円）
- ・おみやげの購入先は「物産店」の割合が大きい。

おみやげ料金	回答数	%
0円	162	56.3
1~499円	12	4.2
500~999円	27	9.4
1,000~1,499円	49	17.0
1,500~1,999円	11	3.8
2,000~2,999円	11	3.8
3,000~3,999円	7	2.4
4,000円以上	9	3.1
計	288	100

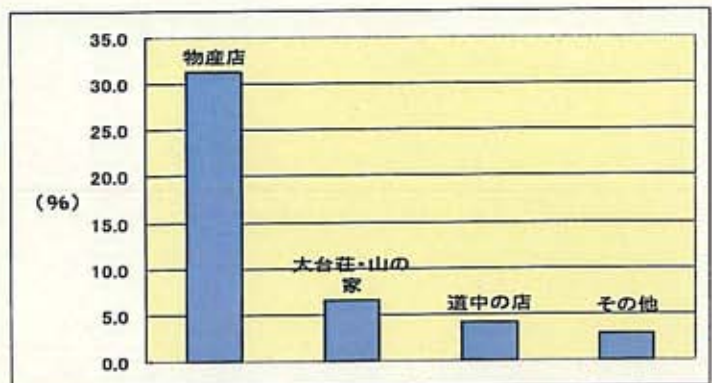


図3-1 おみやげの購入場所

4-4. 宿泊代

- ・平均 8,842 円 (n=49、出費 0 円を除く) (全体平均 1,504 円)
- ・「宿泊なし」の割合が 80%を超える。宿泊先は「大台荘・山の家」が最も多い。

宿泊代	回答数	%
0円	237	82.3
1~4,999円	4	1.4
5,000~9,999円	26	9.0
10,000~19,999円	19	6.6
不明	2	0.7
計	288	100

宿泊場所	回答数	%
大台荘・山の家	16	5.6
ホテル	14	4.9
民宿	3	1.0
その他	21	7.3
宿泊なし	232	81.1
計	286	100

4-5. 日帰り温泉代

- ・平均 576 円 (n=72、出費 0 円を除く) (全体平均 140 円)
- ・日帰り温泉を予定している人は全体の 25% (72 人) であった。

日帰り温泉	回答数	%
日帰り温泉	72	25.0
ホテル	1	0.3
その他	6	2.1
計	79	27.4

	日帰り温泉名	回答数
上北山村	上北山温泉	3
	薬師湯	5
	小処温泉	12
川上村	入之波温泉	8
	五色湯	8
	山鳩湯	6
その他	きなりの湯	3
	虹の湯	3
	その他	2
	不明・未定	22
	計	72

IV. 大台ヶ原利用者アンケート調査票

質問1 今回の大台ヶ原への来訪についてお聞きします。

1-1 どこから来られましたか。 () 都道府県 () 都市町村

1-2 性別は? ① 男性 ② 女性

1-3 年齢は? ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代以上

1-4 どなたと来られましたか。下記から1つ選んで下さい。()の中には自分を含めた人数を記入して下さい。

- ① ひとり ② 家族 (人) ③ 友人 (人)
④ 旅行会社のツアー (人) ⑤ その他(団体名: / 人)

1-5 どのような交通手段を利用されましたか。下記から1つ選んで下さい。

- ① 路線バス ② 観光バス ③ 自家用車 ④ タクシー ⑤ 徒歩
⑥ その他(具体的にご記入下さい:)

1-6 どのくらいの頻度で大台ヶ原を訪れますか。下記から1つ選んで下さい。

- ① 今回が初めて ② 来たことがある ③ 1年に1回程度 ④ 1年に何回も

1-7 今回の来訪の目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① ハイキング・散策 ② 登山 ③ 写真撮影 ④ 動植物観察
⑤ その他 ()

1-8 大台ヶ原をまた訪れたいと思いますか。 (① はい ② いいえ)

→「はい」と答えた方にお聞きします。次はどの時期に訪れたいですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① 春 ② 夏 ③ 秋 ④ 冬
⑤ 新緑の頃 ⑥ シャクナゲ開花の頃 ⑦ 紅葉の頃 ⑧ 樹氷の頃
⑨ その他 ()

質問2 マイカー規制についてお聞きします。

※マイカー規制について・・・大台ヶ原ではゴールデンウィークや秋の紅葉シーズンに多くの方が訪れ、駐車場の混雑や渋滞が問題となると同時に、それによる自然環境への影響が懸念されており、これに対してマイカー規制の導入を検討しています。マイカー規制の期間中にマイカーで来訪された方には、心もとの乗換え駐車場にマイカーを駐車し、シャトルバスに乗り換えて山頂へ向かっていただくという仕組みを考えています。

2-1 混雑のはげしい時に限ってのマイカー規制は必要であると思いますか。いずれかに○をつけ、その理由をお書き下さい。

- { ① はい ② いいえ }

【理由】

質問3に進んで下さい

2-2 マイカー規制の際、駐車場の整理やバス借り上げなどの経費が必要となりますが、マイカーからシャトルバスへの乗換え駐車場とシャトルバスがそれぞれ有料であった場合、支払い可能な合計金額はどれくらいとお考えですか、限度と思われるものを1つに○をつけて下さい。

- ① 往復 1,500 円以内 ② 往復 2,000 円以内
③ 往復 2,500 円以内 ④ 往復 3,000 円以内
⑤ なるべく安い方がよいが、3,000 円以上でも必要であれば支払う
⑥ 有料ならば予定を変更する ⑦ その他 ()

2-3 シャトルバス乗車時間として、どのくらいまで容認できるとお考えですか。限度と思われるもの1つに○をつけて下さい。

- ① 片道 30 分～45 分 ② 片道 45 分～1 時間 ③ 片道 1 時間～1 時間 30 分
④ どれだけかかっても構わない ⑤ その他 ()

2-4 マイカーからシャトルバスへの乗換え駐車場にあればよいと思う設備・サービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① トイレ ② ビジターセンター ③ 食事処・喫茶店 ④ 売店・自動販売機
⑤ 物産店・特産物販売所 ⑥ その他 () ⑦ 特になし

2-5 シャトルバスの走行ルートにあり、途中下車して立ち寄ることができる施設として、あればよいと思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① 日帰り温泉 ② 宿泊施設 ③ 物産店・特産物販売所 ④ 資料館・博物館等
⑤ その他 () ⑥ 特になし

ここからは全員がお答えください。



質問3 豊かな自然体験ができるようなプログラムについてお聞きします。

大台ヶ原では、豊かな自然を深く理解して頂くため、各種の体験プログラムを企画・運営することを検討しています。

3-1 どのような自然体験プログラムに参加したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① ガイドの説明付きの自然観察会
- ② 夜の観察会、星の観察会等
- ③ 日の出を見る会
- ④ ガイド付きの日帰りの登山
- ⑤ ガイド付きの1泊2日程度の登山
- ⑥ 写真撮影会、写生会
- ⑦ ネイチャーゲーム（五感を使って自然を体験するゲーム）
- ⑧ ビジターセンターでの学習会
- ⑨ 自然の素材を活用した工作体験など
- ⑩ 自然保護ボランティア活動（歩道沿いロープの補修などの軽作業）
- ⑪ 大台ヶ原の自然の研究

3-2 上記の他に大台ヶ原で参加したいと思う自然体験プログラムの提案があればお書き下さい。

3-3 他地区で参加したおもしろい自然体験プログラムがあれば教えて下さい。

3-4 例えば、大台ヶ原に詳しい有料ガイドが案内する、より深い自然体験のできる少人数の自然観察会や登山を企画するとして、大人1人1日あたりの料金として、どのくらいならば参加可能であるとお考えですか。限度と思われるものを下記から1つ選んで○をつけて下さい。

内容：ビジターセンター出発 → 4時間程度の観察会・登山 → ビジターセンター解散

- ① 3,000～4,000円
- ② 4,000～5,000円
- ③ 5,000円～
- ④ 参加したくない
- ⑤ その他()

3-5 質問3-1のような自然体験プログラムを短期のイベントとして開催する場合、どのような日程がよいですか。都合のいいものすべてに○をつけて下さい。

- ① 平日出発・日帰り
- ② 平日出発・1泊2日
- ③ 土曜出発・日帰り
- ④ 土曜出発・1泊2日
- ⑤ 日曜出発・日帰り
- ⑥ 参加したくない
- ⑦ その他()

